

自治ひろこ

1628号

2023. 4. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 4月16日 芦屋・宝塚・明石・三木市議会選挙告示日
 - 4月23日 同上4市議選投票開票日
 - 5月3日 戦争させない、9条壊すな!5・3兵庫憲法集会(神戸みなとのもり公園)
- 5/1号は休刊します



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

メーデーに結集しよう

- 【4月23日(日)】
明石地区(10:00~)明石公園きしろスタジアム
 - 【4月27日(木)】
川西・猪名川・豊能地区(18:30~)
池田市ダイハツ労働会館
 - 三田地区(18:30~)三田市郷の音ホール
 - 【4月29日(土)】
神戸中央メーデー(10:00~)大倉山公園野球場
 - 尼崎地区(10:00~)ペイコム陸上競技場
 - 淡路地区(10:00~)洲本市大浜海岸
 - 東播地区(10:00~)高砂市総合運動公園
 - 加西地区(9:30~)いこいの村はりま芝生広場
 - 西部地区(10:00~)東御屋敷跡公園
 - 但馬地区(10:00~)豊岡市民会館
 - 丹波地区(10:00~)篠山市四季の森生涯学習センター
 - 【4月30日(日)】
伊丹地区(10:00~)伊丹市昆陽池公園多目的広場
 - 北播地区(10:00~)西脇市総合市民センター体育館
 - 【5月1日(月)】
西宮地区(10:00~)市立六湛寺公園
 - 芦屋地区(18:00~)芦屋市役所前
- ※宝塚地区は中止



寸劇では職場の状況を役員が熱演した

女性部と臨職評は、13回目となる合同学習会を3月11日に中央労働センターで開催し、23単組37人が参加した。実際に職場で起きている問題を寸劇に仕立て、それを題材にグループで議論を深めた。

最初に臨職評の伊藤房枝議長は「職場は年度末で忙しい。組合も春闘の取り組みや新入組合員の対応に追われる時期だが、自分に優しくできていますか?人は優しくされると誰かに優しくしたくなるもの。優しさを広げ、職場でも組合でも誰もが意見を出しやすい環境を作っていこう」とあいさつした。

寸劇では「定時退勤は夢

女性部・臨職評合同学習会

状況を共有し改善策を探る

年休の取り方や超勤の取り扱いを再確認

藤原潤子女性部長からは年休の取り方や超勤をきっちり記録することなどを再確認。参加者からは「当たり前前と違っていたことがそうではない」「自分も変わらなければならぬ」「など気づきの声がかかれた。

最後に藤原部長が「人員不足は大きな問題だが、自分たちがしっかりと年休を取ることで人手不足の時もお互

6月1日をヤマ場に人員確保闘争へ結集を

一歩前へ進もう

県本部は2023春闘から「一歩前へ」を合言葉に取り組みを進めている。とくに4月スタート時点の人員の配置について「適正な人員配置を行う」との回答を引き出すことを妥結基準とし、人員確保闘争に繋げる取り組みを進めた。そもそも当局側が適正ではない配置を行うなど、管理監督責任を放棄するようなことはありえない。

各単組は、6月期の人員確保闘争ヤマ場にむけ、定時に帰宅できる体制はどうあるべきか、長時間労働の実態はどうか、定年が65歳へと段階的に引き上げられるが最後まで働き続けられる職場の体制はどうあるべきかなどを話し合い、意思統一を図ることが必要である。要求作りでは、職場オルグを進め各課・係の状況を確認し、人員要求をまとめ

闘争を進めていこう。人員確保の取り組みを進めることは、市民サービスの向上にもつながり、安心して働き続けられる職場をめざすこととなる。

賃金の改善を進めて行くことは人材の確保につながり安心して働ける職場となる。あらためて6月1日の統一闘争ヤマ場への結集を強化し、働きやすい職場をめざす取り組みを進めて行

ホームページをリニューアル

県本部ホームページをリニューアルしました。県本部の行事や単組の取り組みなど、身近な話題をタイムリーにお届けします。

自治労兵庫県本部 検索



【組合員専用ページ】では、より詳しい情報を発信します。

ログインには、ユーザー名・パスワードが必要が必要です。詳しくは単組にお問い合わせください。

いまいち座



大植 賢(豊岡市職労)

こう。さらなる組合員の結集をお願いする。

動かす運動をしないとダメ。今更遅いですかね?

しこう

昨年から今春にかけて「ブルー」や「ジャパン」という侍がピッチやフィールドで躍動した。皆さんの記憶に

県本部第16回卓球大会

大激戦を制し豊岡が2連覇

初出場の新温泉は準優勝と健闘



見事2連覇を果たした豊岡市職労チーム

県本部は3月11日、加西市内で県職・神戸市従・洲本・淡路・姫路・小野・丹波篠山・豊岡病院・新温泉・豊岡・六粟・加西の12チームが参加し、第16回卓球大会を開催した。

予選リーグを経て、決勝リーグに進めたのは小野市職、豊岡市職、新温泉市職、神戸市従の4チーム。準決勝で神戸市従を4対2で制し、県本部大会初

出場の新温泉が前回王者の豊岡との決勝戦に挑んだ。決勝戦は豊岡が3試合、新温泉が2試合を取った局面で、ここまですべてストレートで勝ち続けてきた女子シングルの新温泉・田中が安定感のあるプレーで勝利を決め、3対3に押し戻す展開となった。

優勝の行方が、かかった男子シングルの豊岡・岡田と新温泉・阪本の戦い

は、第1ゲーム、初戦からデュースとなる接戦の末13-11で岡田。第2ゲームも冷静な試合運びで11-5岡田。第3ゲーム、追い詰められた阪本が落ち着いて応戦し、9-11でゲームを奪取。第4ゲーム、勢いをつけた阪本が9-11で競り勝った。緊張感に包まれて始まった第5ゲームは、お互いが1点を奪い合う一進一退の攻防が続く白熱したゲームとなった。デュースにもつれ込む大激戦を岡田が制し、豊岡市職労が見事2連覇を達成した。なお、3位には粘りを見せた小野市職が念願の入賞を果たし



講演を行った高橋さん

産別を超えた交流から学ぶ

民間労組の職場実態から視野を広げる

「職場産別を超えた青年の共闘で春闘に勝利し、大幅な賃上げを勝ち取ろう」をスローガンに第55回全国団結集会在茨城県内で2月11、12日に開催された。

集会では、相鉄労組の前委員長の高橋廣康さんが「バス支出削減に抗して、たたかいと教訓」について講演を行った。相鉄の経営立て直しに組合員が巻き込まれた事実が語られ、当局のやり方に反対し、ストライキや署名活動などを実施。闘争は裁判闘争まで発展したが、最高裁で棄却という結果になった。「結果的に負けたかも知れない。しかし、会社のやり方に屈

服しなかったことは、労働者としての真つ当な判断だった。人として成長できた」と述べた。

分散会では各グループに分かれ2日間実施された。兵庫の参加者からは「民間との違いを知る良い機会」「春闘の取り組み、自治労の熱量とは雲泥の差を感じた」「あたり前の生活ができるよう『欲』を出して、たたかわなければならぬ」と感想が出された。

専守防衛はどこへ

平和は命がけの外交努力で作られる

5・3兵庫憲法集会の成功に向け、プレ集会在3月7日に長田区文化センターで約180人が参加し開催

された。集会冒頭、主催者の羽柴弁護士は「専守防衛のタガがはずれた。引き返すことができない所まで来ている。新しい戦前とならないよう取り組みが必要だ」とあいさつをした。

防衛ジャーナリストの半田滋さんが「敵基地攻撃と日米一体化 防衛費増額は国民負担」をテーマに講演。「これまで米軍と自衛隊は役割分担をしてきたが、自衛隊は『矛』も『盾』も保有することとなった。そのことで専守防衛のカケラもなくなっている」と指摘し、

「軍事力強化は東アジアの不安定化を呼び込む。わたしたちは重い増税負担を引き受けることを本当に望んでいるのか」と問い「抑止力のための軍事力強化ではなく、政府は命がけの外交によって平和を作っていくかなければならない」と語った。



半田さんから講演を受ける

振替休日の運用は大丈夫？

「振替休日の運用は『大丈夫』と分科会の趣旨を説明。

森書記次長から①指定された振替休日を取得②取得できない場合は休日勤務手当支給③必要な人員配置の基本3項目を説明。さらに①週休日の労働基準法の原則②公務職場の週休日の振替③時間外勤務手当等の

支給などについて詳しく説明した。

三田、加古川、南あわじなどでは管理職の正しい認識により、振替が確実に取れる職場環境が報告された。特に、神戸は振替休日を含め休日をパソコン管理。誤りも少なく、同一週内で振替休日が取れるシステムが報告された。

を導入しており、他の単組からは「神戸市のシステムが良い」と感想が出された。病院職場は「変則勤務で人員不足、振替休日が翌月に繰り越しとなっている状況。代休となった場合の時間外手当もきつちりと精算されていない」などの現状が報告された。

「専守防衛は東アジアの不安定化を呼び込む。わたしたちは重い増税負担を引き受けることを本当に望んでいるのか」と問い「抑止力のための軍事力強化ではなく、政府は命がけの外交によって平和を作っていくかなければならない」と語った。



半田さんから講演を受ける

県本部2023春闘討論集会分科会報告①

第3分科会は12単組20人が参加。足立育生副委員長が座長を務め、森哲二書記次長、北池宏光現業公企部長、岡和巳但丹ブロック事務局長で分科会を進め、座長は「週休日の振替が未だに違法状態の自治体もあり、春闘期から法令順守に向け取り組みを進めていか

なればならない」と分科会の趣旨を説明。

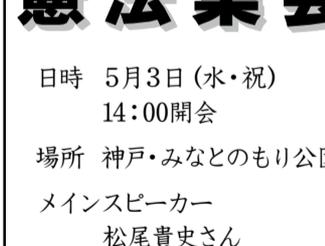
森書記次長から①指定された振替休日を取得②取得できない場合は休日勤務手当支給③必要な人員配置の基本3項目を説明。さらに①週休日の労働基準法の原則②公務職場の週休日の振替③時間外勤務手当等の

支給などについて詳しく説明した。

三田、加古川、南あわじなどでは管理職の正しい認識により、振替が確実に取れる職場環境が報告された。特に、神戸は振替休日を含め休日をパソコン管理。誤りも少なく、同一週内で振替休日が取れるシステムが報告された。

を導入しており、他の単組からは「神戸市のシステムが良い」と感想が出された。病院職場は「変則勤務で人員不足、振替休日が翌月に繰り越しとなっている状況。代休となった場合の時間外手当もきつちりと精算されていない」などの現状が報告された。

「専守防衛は東アジアの不安定化を呼び込む。わたしたちは重い増税負担を引き受けることを本当に望んでいるのか」と問い「抑止力のための軍事力強化ではなく、政府は命がけの外交によって平和を作っていくかなければならない」と語った。



5.3兵庫憲法集会

戦争させない、9条を壊すな!

5.3兵庫憲法集会

日時 5月3日(水・祝) 14:00開会

場所 神戸・みなどのもり公園

メインスピーカー 松尾貴史さん

長期共済 積み立てタイプの長期共済もあります。

団体生命共済

団体定期生命共済

新入組合員の皆さん 申し込み受付中です!

ただ今

社会人としての備えの第一歩は**団体生命共済**から。組合員だから利用できる**生命と医療の保障**です。

手続きは組合で

新入組合員の方は継続募集期間以外も申し込みます。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の仕組みとして共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住または勤務地(先)の共済生活協同組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済自治労共済本部資料より引用